

あれ?

まさか!?

?!

これって 子ども虐待ですか

「子ども虐待」を知っていますか?



子ども虐待は大きく4つに分けられますが、これらが重複して起きていることが少なくありません。

身体的虐待

- ① 首を絞める、殴る、蹴る、投げ落とすなどの暴力
- ② 逆さづりにする
- ③ やけどをさせる
- ④ 溺れさせる
- ⑤ 冬に戸外に閉め出す
- ⑥ 意図的に子どもを病気にさせる など



ネグレクト (養育保護義務の拒否・怠慢)

- ① 適切な衣食住の世話をしない
- ② 家に閉じ込める (学校に登校させない など)
- ③ 医療ネグレクト (病気になっても病院へ連れて行かない など)
- ④ 子どもを家や車中に長時間放置する
- ⑤ 子どもの情緒的欲求を無視する (愛情遮断 など)
- ⑥ 同居人の虐待の放置 など



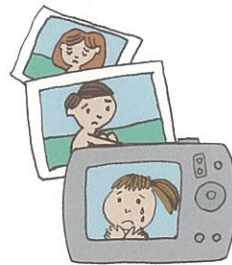
心理的虐待

- ① 大声や言葉による脅かし、脅迫など
- ② 子どもの心を傷つけることを言う
- ③ 子どもを無視したり、拒否したりする
- ④ 他のきょうだいと著しく差別的な扱いをする
- ⑤ 子どもの前で配偶者などにDV (暴力、暴言、無視など) をする など



性的虐待

- ① 性的ないたずらを強要・教唆する
- ② 性的関係を強要する
- ③ 性器や性交を見せる
- ④ ポルノグラフィの被写体にする など



「しつけ」のつもりで 虐待になっていませんか?

しつけとは、子どもに社会性を持たせ、自立させるために行う家庭内での教育のことです。

大人の都合や期待を押しつけ、体罰や言葉で責めさせて従わせることはもちろん、発達段階を無視した早期教育などの不適切な行為は、「しつけのつもり」でも、子どもにとって有害ならば「虐待」になります。そして、どのような理由があっても、それらの行為が正当化されることはありません。



虐待が子どもに与える影響とは?

虐待は、子どもの心身の成長や人格形成に重大な影響を与えるだけでなく、次の世代にも虐待を起こすおそれがあります。

言葉や、学習の遅れなど発達への影響

後遺症、低身長・低体重、栄養不良など体への影響

情緒不安定、自己否定感、強い不安感など心への影響

暴力性、自傷行為、対人関係の形成など行動への影響

